

## 農業後継者Uターン等 奨励事業とは



舛 甚 英文 (日本共産党)

**議員** 今回の予算案に「農業後継者Uターン等奨励事業」とあるが、詳しい中身を伺いたい。

**農林部長** これまでも国や県の制度等に呼応して、栽培技術の習得等の支援をしてきたが、当市の新規就農者は年間数名程度である。このような状況を改善し、当市定住の新規就農者を確保するため、現在首都圏に居住し地元Uターンして就農する



長芋収穫の風景

方や就農したいという希望者を対象に、地域活動も行うという条件を条件にしながらも、毎月定額の支援を行う農業後継者Uターン等奨励事業を実施することとしている。

また、新規就農者が経営安定のために農業用機械や施設等の導入を希望する場合には、経営体育成支援事業や各種融資制度が活用できるよう支援していくほか、関係機関、団体とも連携しながら農地、住宅、受け入れ農家等の情報提供を行う体制整備も進め、新規就農者の育成、確保に努めていきたい。

## 子供の医療費、窓口負担をゼロにする考えは

**議員** 四歳児から六歳児の通院・入院に医療費の助成制度があるが、これを全額助成し、償還払いはなく、現物給付にできないか。

**健康福祉部長** 乳幼児医療給付事業での四歳児から小学校就学前までの児童の保護者負担額は、平成二十一年度給付実績で総額四百六万円となっており、その無料化は市単独事業となることや、保育所での特別保育事業など子育て支援対策に努めていることから、現在は難しいと考えている。

また、当該事業での四歳児以上への支給方法は、医療機関や薬局等での毎月一カ月の自己負担合計額から、通院は一月につき一千五百円、入院は医療機関ごとに一日につき五百円を控除するため、現時点では現物給付することは予定していない。



## 十和田湖への観光振興策は

野月 一正 (明政一心会)

**議員** 八戸駅開業の際には一時的な入り込み増大があったと聞か、その後の開業効果を持続できなかつた反省を踏まえ、十和田湖への観光振興策の今後の取り組みは。



ゴールデンウィーク中の七戸十和田駅

たことで、観光客が現地に来てからでも観光商品の予約や申し込みができる着地型旅行商品の販売体制の充実に取り組み、十和田湖の一層の観光振興を図っていきたい。

## 都市計画道路整備への取り組みは

**議員** 十和田湖へのアクセス道路、市街地での交通混雑解消のため、十和田都市計画道路三、三、一、佐井幅・高清水線の整備について、市はどのような取り組みを行っているのか。

**建設部長** 当該路線の調査及び計画は市の重点事業要望として平成十九年度から県に要望している。県の回答は、市街地の交通需要等を踏まえ検討するとのこと、引き続き要望していきたい。

今後は十和田湖を中心とした秋田県側の周辺自治体との連携を深め、こ

**観光商工部長** 昨年十月に十和田湖国立公園協会が第三種旅行業に登録し

要望していきたい。

\*3 乳幼児医療給付事業：医療費について、三歳以下は全額助成、四歳児から小学校就学前の児童は、自己負担額から一部控除した額を助成している。市と協定書を締結している市内医療機関では現物給付し、それ以外は償還払いとしている。